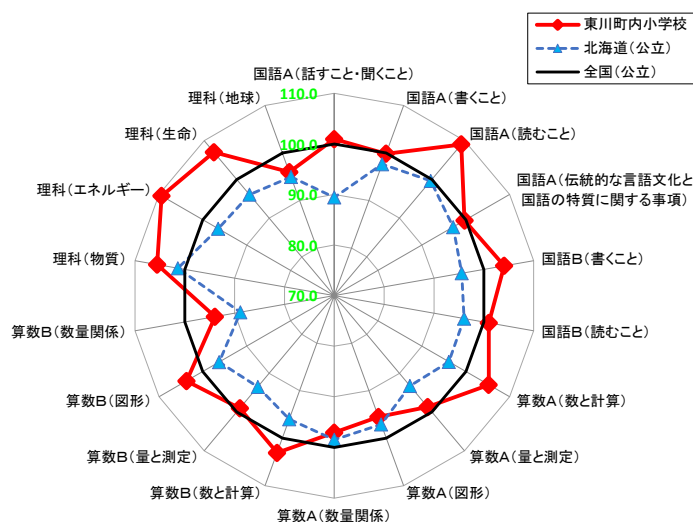


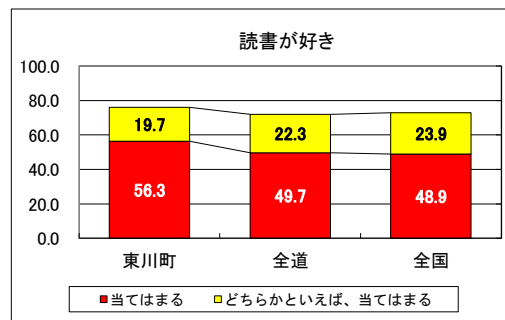
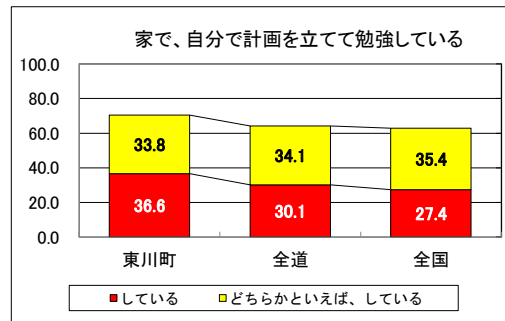
■東川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:71名)

【教科全体の状況】

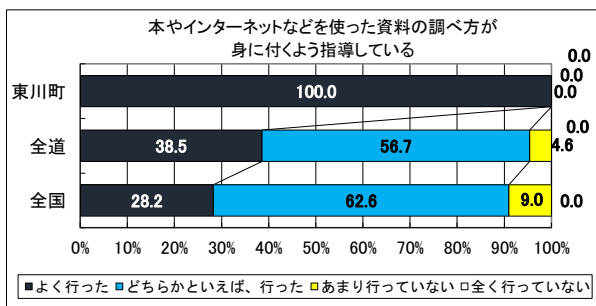
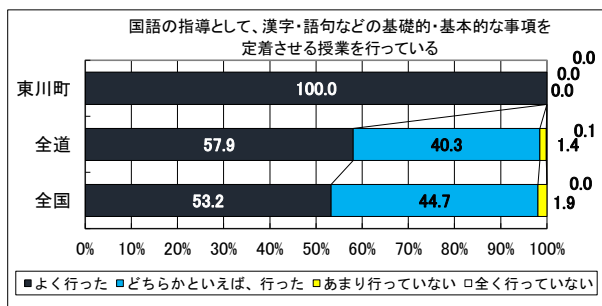
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語Bでは、全ての領域で、全国及び全道を上回っている。 - 算数Aでは、「数と計算」、算数Bでは、「数と計算」、「図形」で全国及び全道を上回っている。 - 理科では、「物質」、「エネルギー」、「生命」で、全国及び全道を上回っている。	基礎的・基本的な内容を定着する授業を行うとともに、家庭学習を計画的に行うための指導を充実させたことにより、学力が向上している。
児童質問紙	- 家で自分で計画を立てて勉強していると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 - 読書が好きと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	習熟の程度に応じた指導やチーム・ティーティングによる指導を行い、指導方法の工夫改善を図るなど、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めている。
学校質問紙	- 全ての学校において、国語の指導として、漢字・語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っている。 - 全ての学校において、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導している。	朝読書や授業における図書資料の活用など、日常的に図書館を利用し、読書習慣の形成や読む力の育成を図ったことにより、読書が好きな児童が増加していると考えられる。

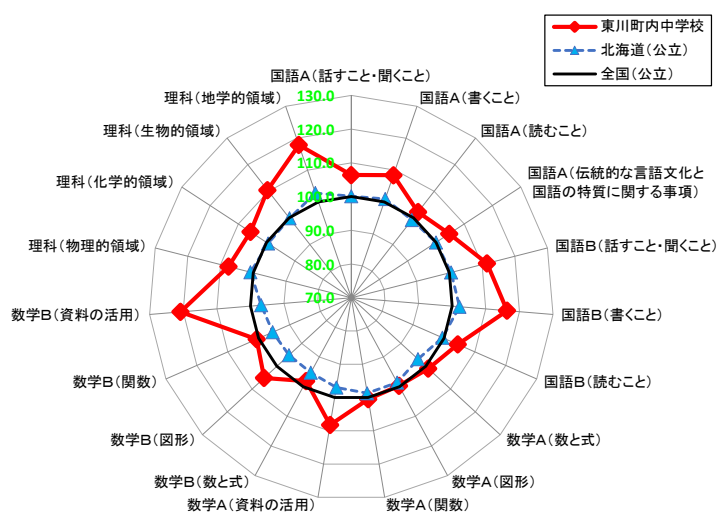
【東川町の学力向上策】

- ◎ 「東川町学力向上推進協議会」の設置による学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 基礎・基本の定着を図るための学習支援員等の活用による個に応じた指導の充実
- ◎ 朝読書や読み聞かせ、各教科等における学校図書館の活用などの読書活動の推進

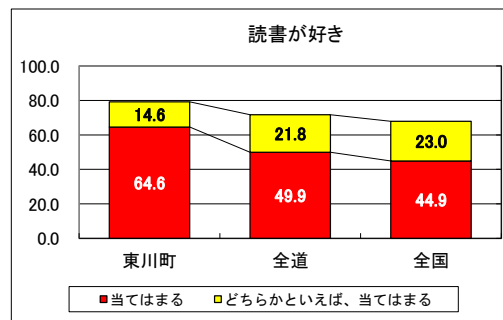
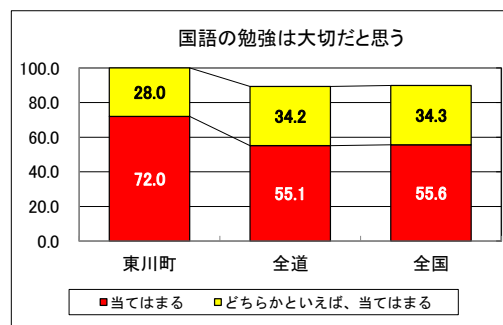
■東川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:82名)

【教科全体の状況】

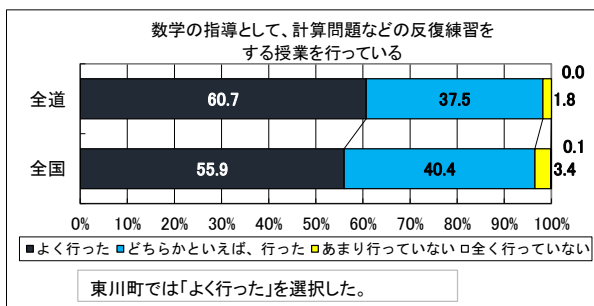
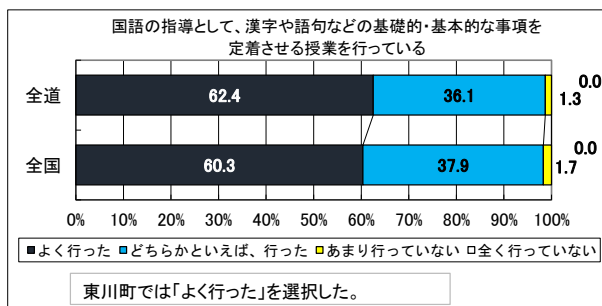
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語A・Bともに、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 - 数学Aでは、「数と式」、「関数」、「資料の活用」、数学Bでは、「図形」、「関数」、「資料の活用」で、全国及び全道を上回っている。 - 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。	- 学習することの意義や有用性について指導するとともに、基礎的・基本的な内容の定着を図る指導を充実させたことにより、学力が向上している。 - 授業や放課後の学習会で支援が必要な生徒に対して個別指導を充実させるなど、学力向上に資する取組を充実させている。
生徒質問紙	- 国語の勉強は大切だと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 - 読書が好きと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	- 国語の指導として、漢字・語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行っている。 - 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行っている。	朝読書や授業における図書資料の活用など、日常的に図書館を利用し、読書習慣の形成や読む力の育成に資する取組を行ったことで、読書の好きな生徒が増加したと考えられる。

【東川町の学力向上策】

- ◎ 「東川町学力向上推進協議会」の設置による学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 大学生や退職教員の協力による中学生の学習を支援する「地域未来塾」の実施
- ◎ 朝読書や読み聞かせ、各教科等における学校図書館の活用などの読書活動の推進